

今週の News

1. 193 回理事会(10/20)の報告
2. 研究会規定の改訂
3. 女性とまちづくり研究会の発足
4. 福島県新地町の復興が 2021 年度グッドデザイン賞
5. 「全まち 2020-2021in 大船渡」の開催案内

■193 回理事会(10/20)の報告

10月20日に第193回理事会が協会事務所/ウェブのハイブリッド方式にて開催され、委任を含め22名が出席し会は成立しました。

主要な議事は、21年度上半期の収支報告と会費・寄付等の現状報告、ビジョン・会員制度検討の中間報告、2021全まち最終方針、JANPIA事業及び新たな研究会の承認などの審議が行われました。

次回理事会は11月17日に行われます。

◇2021年度上半期の収支報告の概要

年会費収入は昨年同時期に比べ70万円ほど減額、予算計画よりも170万円不足しております。また、寄付/協賛金やまちづくりカレッジが当初予算よりも収入が減り、受託事業が未受託等のため、このまま下半期が改善されないと今期は450万円の赤字になることを理事会で共有しました。現在、理事メンバーで会費未納者や寄付/協賛企業への声掛けを強化するなど、対応を進めております。

●会費納入のお願い

JSURPの年度予算の概ね3割程度が会員の皆様による会費収入で占められています。現在、当初予算会費収入の約2割が未収となっています。

会員の皆様には早急に会費納入をされますようお願い申し上げます。

■研究会規定の改訂

8月の第190回理事会においてJSURP研究会規定が改定されました。新たな研究会規定の概要は以下の通りです。

①方向性

- ・社会に開かれた多種多様な研究会の維持・発展
- ・研究会の権利と義務の明確化
- ・設立しやすく、設立後はしっかり運営するように

②主な改定事項

- ★設立発起人要件の見直し及び更新要件の追加等
 - ・発起人は正会員5人以上→正会員3人以上に
- ★研究会役員等の要件の見直し→設立しやすくする
 - ・研究会員は原則JSURP会員(旧)→削除
 - 研究会の組織構成の柔軟性と自由度を確保
 - ・代表者1名+幹事役5名以上(旧、全員J会員)
 - 代表者1名(正会員)+幹事役2名以上(会員)
- ★廃止要件の見直し

■女性とまちづくり研究会の発足

8月に改定された研究会規定に基づく新規研究会の第1弾として「女性とまちづくり研究会」が193回理事会で承認されました。

1.主旨

都市計画・まちづくりにおいては男女の区別なく働くことが前提となっているが、女性ならではの課題もあり、働き方、キャリア形成、ネットワーク・情報交換の場作り、まちづくりにおける女性の課題・特性の活かし方などを議論することが求められている。家協会の女性会員を中心に継続的な議論の場を設けたい

2. 役員等

◇設立発起人

佐谷和江、千葉葉子、三谷繭子、北本美江子

◇役員 代表：佐谷和江

幹事役：三浦由里、三谷繭子

3. 活動

◇設立準備会議

開催日時：9月7日 20～21時：オンライン

参加者：17名

議事：研究会の趣旨、活動内容、体制、スケジュール等

話題提供：佐谷和江氏

活動計画：原則として2カ月に1回の話題提供者を中心とした集まり(オンライン併用)、参加者による議論の発展を促す。

議論の内容を記録して年1回Plannersなどに掲載を目指す

◇次回開催予定

開催日時：11月16日 20～21時：オンライン

話題提供：三浦由理氏(元JSURP会報編集長)

私たちの仕事場について話をしましょう
～まちづくりの現場から～

開催方式：zoomによるオンライン

どなたでも参加できます

<https://us02web.zoom.us/j/85405783214?pwd=Q2NMQVVLZWlwUzJzU2JwZG5YNjNlUT09>

ミーティングID: 854 0578 3214

パスコード: 907469

●女性とまちづくり研究会の発足—北本美江子
今さらに「女性」という気はしましたが、日本の国際的地位が経済力と共に低下していく中、やはり女性活躍は欠かせないと思って研究会の形をとってみました。日本文化に深く根差した内と外の線引きに、女性の果たした役割は大きかったのではないのでしょうか。「一歩下がって」の風習はなかなか乗り越えにくいのですが、身近な私たちの業界から見つめて議論していきたいと思います。

■福島県新地町の復興が2021年度グッドデザイン賞 —JSURP、関係者も受賞に一役—

◇概要

2021年度グッドデザイン賞において、JSURP（日本都市計画家協会）が受賞者の一員になりました。

「街区・地域開発」分類において、福島県新地町における災害からの復興が受賞対象となり、プロデューサーとして井上理事が、ディレクターとして江田理事が、受賞企業の一員としてJSURPが受賞しました。

プロデューサーの井上理事は伊藤滋先生発案のJSURPと都市防災研究所からの被災都市への復興支援専門家派遣事業の一環として、福島県新地町に専門家として派遣され半年間常駐し震災復興の助言等を行いました。ディレクターの江田理事は代表を務める地域計画連合が実際の復興計画づくりを受注して進めていました。同じくディレクターの鴫田芳文氏は、当時の新地町復興計画課長で市民を巻き込んだ復興まちづくりを的確に推進した中心人物です当時、震災復興の現状調査中だった信州大学上原先生に新地町の画期的取り組みを紹介したところ研究テーマとして取り上げて、その成果が今回の受賞対象となったものです。

◇受賞対象

信州大学上原教授が主体となって進めた「デザイン・サイエンスによる災害からの復興（2011年の東日本大震災からの福島県新地町の復興住宅地計画）」が対象となっている。「東日本大震災では多くの街が被災した。より高い堤防と嵩上げ工事は10年にもおよび人口が減少した。包括的なデザイン・サイエンスの都市計画のためのイアン・マクハーグの理論と、その実装のために国土庁が整備していたデータを福島県新地町のボトムアップ型の復興計画に活用し、被災地でいち早い住宅再建と人口回復を実現した。」が理由とされている。

◇デザインのポイント

- 1.デザイン・サイエンスを災害リスク評価に活用し、ボトムアップ型で複数の復興住宅の再建を早期に実現。
- 2.個別ハザードマップの統合では示せない、複合的な災害リスクの重なり、地域全体の相対リスクを可視化。
- 3.複合的な災害リスクを考慮できたことで、工期が短く、魅力的な敷地の開発を4年間で達成できた。

◇経緯とその背景

本街区・地域開発で活用した国土庁の環境目録（紙媒体の地図）はイアン・マクハーグの理論(1969)を日本の国土計画に応用するために磯辺行久、H.シャピロ(マクハーグの教え子)らにより作成された。アメリカでも国土計画用の目録は完成していなかったもので、先進的な取り組みであった。しかし、オイルショックやニクソンショックによる円安・ドル高の影響等もあり、実際の計画には十分に反映できず、忘れられていた。本事業ではその報告書を30年の時間を経てデジタル化することで、2011年の東日本大震災の復興計画に実際に応用したものである。東北の被災地で最も高頻度で住民と協議を行い、ボトムアップ型の点的に分散する住宅移転を試みた新地町の復興計画と、デザイン・サイエンスの視点から実現した複合リスク評価を組み合わせることで、2015年までにいち早く住宅再建を完了させ、被災者に多様でゆとりある住宅、生活を提供できた。

■「全まち2020-2021in大船渡」の開催案内

◇開催概要

- ・テーマ：Intergrowing
—災害の経験をもとに、共に成長する—
- ・日時：2021年11月27日（土）10:00 - 17:30
- ・場所：岩手県大船渡市 キャッセン大船渡エリア
（おおふなぼと／大船渡市防災観光交流センター／キャッセン大船渡コミュニティ・スペース）
- ・参加費：無料
- ・参加方法：現地自由参加、またはオンライン参加
<https://zenmachiofunato.peatix.com/view>
- ・主催：認定NPO 法人日本都市計画家協会

◇プログラム

◆開会/挨拶等（10:00 - 10:10）

JSURP 会長
大船渡市長

◆オープニングトーク（10:10 - 10:30）

問題提起（過去10年～コロナ～これからの10年）

◆セッションA（10:30 - 12:00）

テーマ：7つの分科会に込められたメッセージとは？
全まち2020 - 2021の7つの分科会の振り返り
進行役：及川一輝（大槌）、荻谷智大（石巻）
登壇者：7分科会のパネリスト + α

◆全まち特別賞（12:50 - 13:10）

コーディネーター：江田隆三(JSURP 理事)

◆セッションB（13:10 - 14:40）

テーマ：これからの10年、被災地の今後のために
進行役：内山征（JSURP 理事）
登壇者：及川（大槌）、荻谷（石巻）三浦（気仙沼）、
迎山（大船渡）、姥浦（東北大学）

◆ゲストスピーチ（15:00 - 15:30）

北原啓司弘前大学教授

◆セッションC（15:00 - 17:00）

テーマ：これからの10年、今後の被災地のために
進行役：加藤孝明（東京大学）
登壇者：北原（弘前大）、姥浦（東北大）、山本俊哉
（JSURP 理事、明治大）、渡会(JSURP 専務理事)

◆被災地まちづくりトーク（15:30 - 17:00）

コーディネーター：神谷秀美(JSURP 理事)

◆クロージング

◇現地参加の方へ（宿泊予約など）

全まち大船渡大会は27日（土曜日）の午前10時から17時30分まで開催の予定です。東京など遠方からの参加を予定される方で、前泊、後泊を検討される方は各自でホテル等宿泊の確保をお願いします。会場付近のホテルとして下記の施設があります。

大船渡プラザホテル：0192-26-3131

ホテルルートイン大船渡：050-5847-7307

■11月の予定

- ①11月16日（火）女性とまちづくり研究会
- ②11月17日（水）理事会
- ③11月27日（土）全国まちづくり会議 in 大船渡